

巨乳黒ギャル  
エッチなCG集

B:90W:59:H87  
グラマーボディ  
性格は強気で

汁多め、汗と愛液と精  
全身ぐしょ濡れ

基本CG:7枚



「ほら見て、もう入っちゃってるよ♥奥までずっぽり♥」  
「はは、童貞くんの童貞チンポ……」  
「初めてのオマンコの感触経験しちやつて喜んでる♥」  
「ウチの膣内で超暴れて……破裂しそつなくらい膨張してる♥」  
「ねえ、このまま中出しキメて、その拗らせた童貞性欲存分に発散させてみせてみ♥」

「死ぬほど気持ちいいと思っつよ……」  
「だから思いっきり中出ししてえ♥」  
「ほらほらあ……とびきりエロさく腰振つてあげるからあ♥」

ぐびっ

ぐびっ

「んあああ♥童貞くんのザーメンどぴゅどぴゅちりゅちりゅんじゅんじゅん」  
「性欲むき出しのマジ中出しでウチもイっちょやうじゅんじゅん」  
「チンポの脈打ち方えぐすぎい♥」  
「そんな腰浮くほど気持ちそうに射精して」  
「……んあああ♥……マジで種付けされてるみたい」

「……すごい量……チンポビクつかせながら  
まだ射精してる♥」  
「金玉からっぽでもう精液出ないのに  
射精し続けてる……♥」



「童貞卒業やったね♥どうだった？初セックスの感想は♥」  
「気持ち良かったでしょ？顔に出てるもん♥」  
「ねえ……これからもどう遊ぶ……たくさんしようよ♥」

「もっと軽い感じですか……」  
「中出しセックスしまくっちゃおうよ……ね？」  
「性に乱れた楽しい学園生活……」  
「ウチと一緒に送ろうよ……決定ね♥」  
「あと……ウチ求められたらソツコウだから……」  
「覚えといてね♥」



女「どっぴゅーウチのおっぱいの感触♥

「……言わなくてもチンポの反応だけで十分分かるけど……ふふ、超暴れてる♥」  
「ウチの柔らかいおっぱいで優しく包んで……んっ♥」  
「……こうして上下に揺して……たくさん気持ちよくなるかどうかかな♥」

めしゅん



「……出す感じ……っしゅんっしゅんっしゅんっしゅん……」  
「そっちのタイミングで思いのままに出してみるっ♥」

「きゃああつ♡……何この量♡どんだけ溜め込んでんだよ♡」  
「おっぱいも髪も顔も精液でべつとり……もお♡」  
「……こんな濃い危険日に中出しされたら一発で妊娠確定だね♡」

「ふふ……気持ちよかった？」  
「また気が向いたらうちのおっぱいで遊んだげる♡」



「何回も突いてえっ♥何回でも出してええっ♥  
何回でもされるの気持ちいいありあぁ♥」  
「んあぁっウチの弱いとこばっか突いてえ  
いいよおまた昂ぶつてきたあ♥  
ウチもうイキまくつて敏感になりすぎで……すぐイっちやいぞっつ♥」

「ずりもずりもGスポットかき回されてヤバイっ♥  
来るっ……来るっ……オマンコももうイっちやいぞっつ♥」

もみゅ

チ

デュ  
ポ

デュ  
ポ

「ふあああああ♥またイカされちゃったあああ♥  
頭ん中フワフワして痺れてるのヤバイい♥  
…なんか変な世界飛んでっちやいそうだったばあ♥  
「こんななに何度もイカされたらチンポ中毒になっちやううう♥」

「気持ちいい♥…もろとお…もつとウチを感じさせてえ♥  
うああもう中毒になつてるかもお…♥」





「やっつと……打ち止め？……本当底なしだなお前の性欲……  
まあウチもだからいいけど……結構相性いいよねウチら♥」  
「ウチってドスケベだから……これから先のこと考えると  
楽しくて興奮しちゃう……どんな遊びができるんだらうって♥」

「……これからもたくさん遊ぼう♥」



トっふっ

どいお？

「学校の廊下でチンポ出しててるなんてお前そうとうヤバイやつだな……」  
「なんだよ？嫌なら抵抗すれば？」  
「……しないならこのまま射精しちまうだけだけどな♥」

おに

ざす

ねえ

ねえ

ええ持ち？

んっ

「そうか、気持ちいいの？ん？言ってみるよ……素直になれって……」

「そしたらきつと……もつといいことされるかもよ♥」

「あはは言った言った♥学校で彼女でもなく友達ですらない女にしごかれて気持ちいいんだ♥……盛の付いたワンコちゃんだな♥」

「なんならウチが今日からご主人様になつてやろうか？」

んっ

んっ

「ウチが命令したらすぐにチンポ出して……そんなで従順ならご褒美にワンステップずつ内容が濃くなつていくつての面白そうだろ……？」

「いつワンステップ上がるのか……」

「何ステップ上がればお前がさつきから頭の隅で期待してる」

「ウチのオマンコにこれをぶち込めるのか……期待すると興奮するだろ？」

「何だよもう出そうなのか……しょうがない発情犬だな……」

「出すときはワンって言えよ……ホラ……」

「好きなだけ出して犬みたいに鳴いちゃえ！」

ア  
ー  
ー

イ  
キ  
ョ  
ー  
出  
て  
る  
ア  
ー

ビ  
ュー  
ビ  
ュー  
ア  
ー

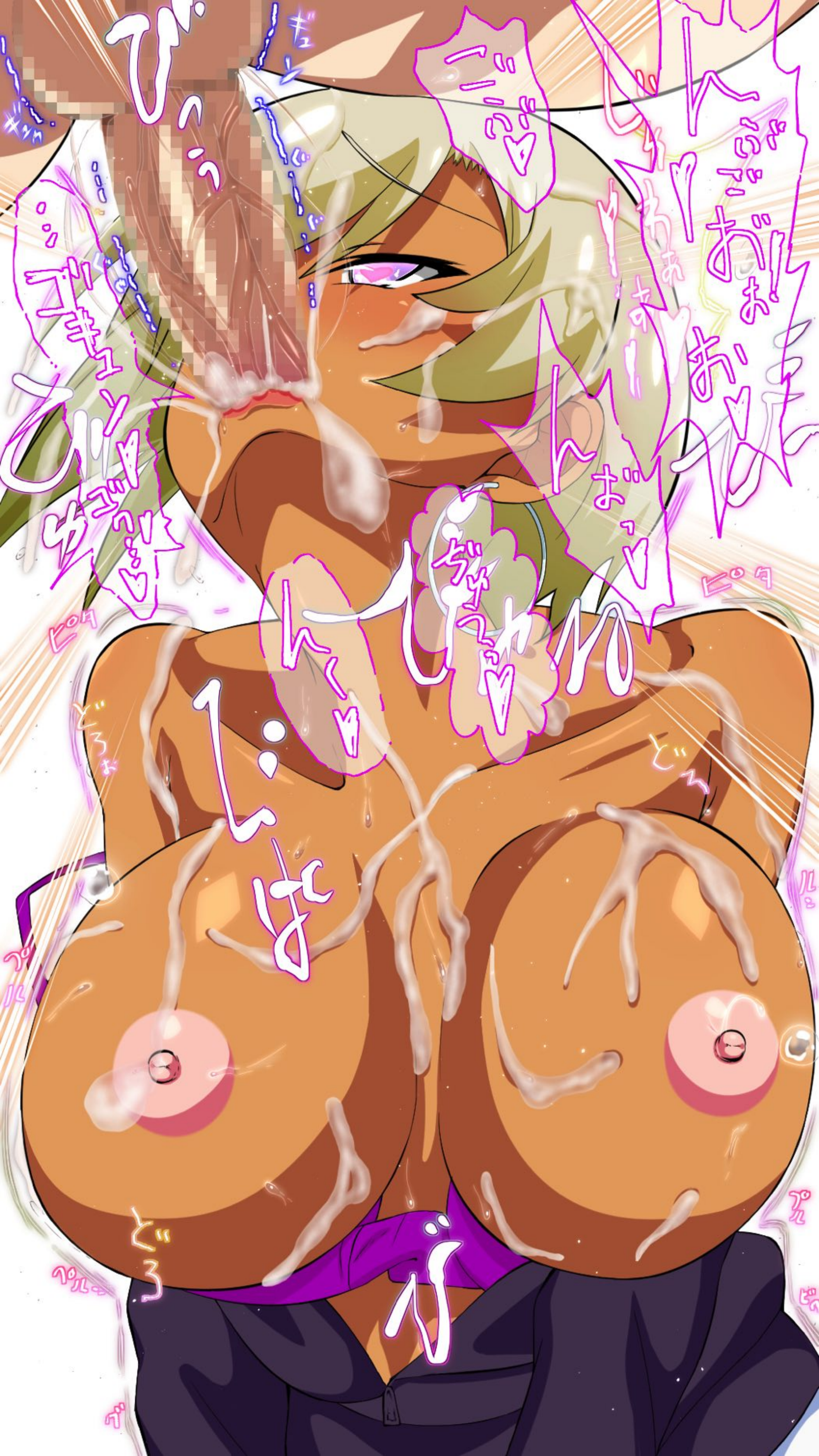
ん  
ん  
ん

「あはは、超出てる♥必死な顔♥  
ビュクビュクって出して  
気持ちよさそう……いい感じだよ  
ワンコちゃん♥よちよち♥」  
「まだウチの手で強く脈打ってる……  
元気だなあワンコちゃんの手は♥」

「……つか全然萎えてないじゃん……  
……どんだけ興奮してんの♥」  
「もうウチ気が変わっちゃった……  
ちよつと保健室に行つてさ……」  
「ソッコウで最後のステップに辿り着い  
ちやうつ……みたいな♥」  
「んふふ……OK……じゃあ行くこつ  
か……二人きりのベッドに♥」







時間も場所も謎に包まれた、怪しい雰囲気漂う一室で、  
一人の黒ギヤルが男と性交渉に及んでいた。

シートに散乱した使用済みのゴム、飛び散る汁の量、  
黒ギヤルの蕩けきつた表情などから  
始まりから長い時間が経過していることが伺えた。  
枕元にはお金が置いてあり、それがこの現状を作り出した要因を思わせる。  
だが黒ギヤルは既にお金なんかには目もくれず男と交わることに夢中の様子。



避妊具を着用せずに挿入され乱暴に膣奥を突かれる黒ギャル。  
だがその表情に嫌悪感などは一切見えず、  
むしろ自ら進んで男を最愛の人のように求め乱れていた。

突かれる度に心底嬉しそうに嬌声を上げ、体中を痙攣させていた。

その反応に男は喜びさらに激しく腰を振り、  
黒ギャルの締りのいい膣を容赦なく責め立てる。

そして、やがて限界を迎え、男は本能の赴くままに

黒ギャルの膣奥で射精を達成した。





黒ギャルは羞恥も理性も捨て去って、ただイクことに懸命に取り組んだ。  
その恍惚としたイキ顔は、ただ種付けをされた雌そのものだった。

男はベッドの隅で一服をむすマホを弄っていた。  
黒ギャルは使用済みのゴムと同じようにベッドに放置され  
しばらく放心状態のままだった。  
黒ギャルが正気に戻った時、  
何を思いどろいう選択肢を選ぶのかは当人にしかわからない。



「あんっマジ気持ちいい♡チンポ擦れまくって気持ちよすぎること♡  
マジヤバイからあ♡」

「腰止まんないっ♡ああ生チンポ最高っオマンコ超気持ちいい♡」  
「生繋がってたいっ朝から晩までずっとセックスし続けてたいっ♡」  
「そんなっいいお前とするっセックス好きいい♡」

もっもっもっ

もっ

もっもっもっ

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

「もうウチイタからっ……一緒に」

「……一緒にいきたいっ♡一緒にいいのおっ♡」

「ああっもうダメえっ♡もうウチ……」

マジでイっちゃうっ♡



巨乳黒ギャル  
エッチなCG集

B:90W:59:H87  
グラマーボディ  
性格は強気で種

汁多め、汗と愛液と精  
全身ぐしょ濡れ

基本CG:7枚



JKの

着

のイ責極的♡

液で

チ

チュ

ポ

# はじめてはギヤル

その3

- 筆おろし騎乗位
- やりまくり正常位
- 全力淫乱騎乗位
- 言葉責め手コキ
- 遊び気分でパイズリ
- 私服でフェラチオ
- 援交？即ハメ密会